

登録コード	J6160200	開講年度	2026				
授業科目	行政学概論					担当教員	青木 隆
英文授業名	public administration					副担当	
単位数	2	講義期間	後期	曜日・時限	金曜・2時限 金曜・3時限	対象学年	(20カリ対象科目)経:3年/法:2年 (23カリ対象科目)法:2年
講義室	経法第1講義室		授業区分	講義	遠隔授業科目		
信大コンピテンシー	非該当						
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」					【授業の達成目標】	
	経法20加						
	経済学または法学が積み上げてきた知識と思考に基づく判断を基礎力として身につけ、それを発揮できる力を身につける。					日本の行政制度、行政活動に関する体系的な知識を持ち、その問題及び解決策を提案できるようになる。	
	経法23加(2026改)・総合法律、経法23加・総合法律						
	法学の専門領域の基礎能力として、リーガルマインドを備え、現代社会の諸問題を法的に解決していく上で必要な法学体系の基礎専門知識を身につける。					リーガルマインドを備え、現代社会の諸問題を法的に解決していく上で必要な日本の行政制度、行政活動に関する基礎的な法概念や理論、判例について説明することができるようになる。	
	経法23加(2026改)・総合法律、経法23加・総合法律、経法20加・総合法律						
	環境問題や、企業や行政の組織内において、日々生起する諸問題について、理工学分野や経済学分野の思考方法にも一定の理解を持ち、総合的に解決していくことのできる能力を身につける。					環境問題や企業及び行政の組織内で生じる問題について、日本の行政制度、行政活動に関する知見を基礎に、理工学や経済学分野の思考方法をも踏まえた総合的な解決方法を提示し、その内容を説明することができるようになる。	
(2)授業で学べる「テーマ」	その他						
(3)全学横断特別教育プログラム							
(4)授業の概要	・行政とは何か?から始まり、日本の行政制度、行政活動について学ぶ。 ・教科書の内容を理解できるように、担当教員が元長野県職員としての実務経験を活かして、行政が実際にどのように運営されているのかを分かりやすく講義する。 ・一方的な講義だけにならないよう、学生に考え、発表してもらう機会を設けるので、日頃から行政に関する新聞記事やニュース等に関心を持ち、積極的に授業に参加して欲しい。 ・公務員を志望する学生、行政に関心を持つ学生の履修を奨励する。						
(5)授業計画	第1回 行政とは何か 第2回 大きくなる政府の役割 第3回 行政学はどのような学問か 第4回 新しい行政の見方 第5回 国と自治体を動かすしくみ 第6回 政府の姿 (行政組織のとらえ方、中央府省の組織編制) 第7回 政府の姿 (行政を取り巻く組織、自治体の行政組織) 第8回 行政を担う人々 (公務員制度のとらえ方、公務員の数と種類) 第9回 行政を担う人々 (国家公務員制度、地方公務員制度) 第10回 変化する日本の行政 (行政組織の改革、公務員制度改革) 第11回 変化する日本の行政 (規制改革、地方分権改革と自治体の行政改革) 第12回 行政活動をデザインする 第13回 法律・条例をつくる 第14回 予算をつくる 第15回 行政と社会のインターフェース、授業アンケート 期末試験						
(6)成績評価の方法	論述問題を出題する期末試験により評価する(100点)が、授業中の意見発表、質問等による授業貢献度を最大30点加点する。						
(7)成績評価の基準	日本の行政について、その概要を記述できれば「合格水準にある」、諸外国との違いを記述できれば「やや上にある」、その問題について記述できれば「かなり上にある」、問題の解決策を記述できれば「卓越している」。						
(8)事前事後学習の内容	事前学習は、教科書の該当部分を読んでおくこと。事後学習は、授業内容を復習すること。						
(9)履修上の注意	授業には必ず教科書を持参すること。						
(10)質問、相談への対応	授業中の他、授業終了後、講義室にて対応する。						
【教科書】	『はじめての行政学[新版]』、伊藤正次・出雲明子・手塚洋輔、有斐閣、2022年						
【参考書】	授業中に適宜紹介する。						